

心の貧しき者

シリーズ～さよならキリスト教～

聖書の有名な言葉⑤

2024/6/16

一般に知られている聖書の有名な言葉

- 「目から鱗が落ちる」
- 「働かざるもの食うべからず」
- 「狭き門より入れ」
- 「求めよさらば与えられん」
- 「豚に真珠」
- 「目には目を歯には歯を」……

一般に知られている聖書の有名な言葉

- 「目から鱗が落ちる」
古い言葉
(文語訳)が多い!
- 「働かぬもの食うべからず」
- 「狭き門より入れ」
- 「求めよ。さらば与えられん」
- 「豚に真珠」
- 「目には目を歯には歯を」

誤解されていることが多い!

本当の意味を調べてみましょう!

「心の貧しい女だわ」

炎と書いてジェラシー

二人でこうして一緒にいるのに

ルビをふったらジェラシー

あなたがどこかへ行ってしまうそう

Jealousy storm

Jealousy stormstorm storm...

心の貧しい女だわ...あああああたし

「愛の嵐」

歌: 山口百恵

作詞: 阿木燿子

作曲: 宇崎竜童

1980年

「心が貧しい人」とは(“生活百科”)

- プライドが高い
- 人の成功を喜べない
- 自分のことしか考えていない
- 勝ち負けを気にする
- ケチ
- 人と自分を比べる
- 常に不満がある
- 感謝の気持ちを持たない
- 謝るのが苦手
- 自分が悪いと思わない
- 理想が高い
- 見返りを求める

「心が貧しい人」とは(“生活百科”)

- プライドが高い
- 人の成長を妬む
- 自分の成長を認めない
- 勝ち負けを気にする
- ケチ
- 人と自分を比べる
- 常に不満がある
- 責任を他人に転嫁したがる
- 自分が悪いと思わない
- 理想が高い
- 見返りを求める

要するに
性格が悪い人！

この言葉の起源は？（明治訳）

イエス口を啓て（ひらきて）彼等に教へ曰（いひ）けるは
心の貧（まづし）き者は福（さいはひ）なり

天國（てんごく）は其人の者なれば也

哀（かなし）む者は福なり

其人は安慰（なぐさめ）を得（う）べければ也

柔和なる者は福なり

其人は地を嗣（つぐ）ことを得（う）べければ也

馬太傳5章2～5節

世紀の誤訳？

- 原語では「心」ではなく「**霊**」が貧しい

マカリオイ ホイプトーコイ トーン **プニューマティ**
祝福されている 貧しい人々は **霊的に(霊において)**

- “プニューマ”を「心」と訳した箇所はない

- 「心」は“カルディア”である(「心の清い」8節)

- 「心」と訳してしまって失敗

- 「霊において貧しい」では意味が分かりにくいと思ったのか？

- 「心」と訳してしまったために「心が貧しい」を「**性格が悪い**」と受け止めてしまった！

他の訳では

新共同訳 > 心の貧しい人々は、幸いである、
天の国はその人たちのものである。

ゴースブル訳 > それこゝろにまづしきものハ…
(1872年)

正教会訳 > 神(しん)ノ貧(マツ)シキ者ハ福(サイ
ハヒ)ナリ(1901年)

塚本虎二訳 > ああ幸いだ、神に寄りすがる
貧しい人たち(1930年～)

KJV・NAS・NIV > Blessed are the poor in
spirit, for theirs is the kingdom of heaven.

「霊において貧しい」とは？

- 「**霊**」とは「**体**」・「**心**」とは異なる「**人間の本質的原理**」
 - 「主なる神は、土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息（**霊**）を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」創2:7
 - 「神は霊である」（ヨハネ福音書4:24）：霊は神によってのみ満たされる
- 「**貧しい**」はただ「**欠乏している**」という意味ではなく「**物乞いのように求めている**」ことを
 - 「**霊において貧しい**」とは「**神を激しく求めている**」
 - 霊は神によってしか満たされない！

幸いな人とは？

- 「福(さいはひ)なり」(幸いである)とは？
 - 原語では“マカリオイ”＝「幸福である」
 - 英語訳では”Blessed”＝「祝福されている」 形容詞であるが受け身形＞神から祝福されている
 - この世の幸不幸の標準ではない
- 「天の国はその人たちのもの」だから
 - マタイ福音書における「天の国」は「神の国」と同義：死後に待っている天国ではない
 - 「天の国(神の国)」とは神の支配

神を激しく求めている人は祝福されている
なぜなら彼らは天の国の住人だから(堀川訳)

霊において貧しくなるには

「心の貧しき者」とは、…心はこの場合においては「心霊」と訳すが当然である。心の最も深い所、人が神に接触する所、そこが彼の霊 (pneuma, spirit) である。而して、心霊において貧しき者とはその奥底において貧しき者とのいわれである。…心霊の富と言えは勿論無形の富であって、或いは知識である。或いは知恵である。或いは心霊の貧者といえは智徳ふたつながらにおいて乏しい者をいうのである。心霊の貧者、自己の非学を自覚し、菲徳(そまつな徳)を是認する者、自己に省みてそのうちに何の善をも発見する能わざる者…

内村鑑三「四福音書の研究」

塚本虎二訳

ああ幸いだ、神に寄りすがる貧しい人たち、
天の国はその人たちのものとなるのだから。

ああ幸いだ、悲しんでいる人たち、(かの日
に)慰めていただくのはその人たちだから。

ああ幸いだ、(踏みつけられて)じっと我慢し
ている人たち、(約束の)地(なる御国)を相続
するのはその人たちだから。